

皇學館 学 園 報

第107号
令和7年10月



■注目記事

- 2面 学食に朝食が登場!
9月19日から新メニュー始まる
- 3面 アカデミック
市田准教授、平石助教が選出
令和6年度優良教育実践
- 4面 グローバル
歌代勇祐さんが
ケニアで柔道指導者として活躍
- 5面 カルチャー&スポーツ
「御花神饌」づくりを学生が体験
心游舎ワークショップ
- 6面 中高トピックス
9月18・19日に皇高祭を開催
三重県私立中学校フェア2025に
参加 ほか
- 7面 皇學館中学校・高等学校
令和8年度募集要項
- 8面 アクティブスチューデント
向原悠斗さん(高2)がインターハイ男子八種競技で3位 ほか

発行・編集 学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大 学 | 大学院 文学部 教育学部
専攻科 現代日本社会学部
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校
三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)

圓藤恭久氏が新理事長に就任

学校法人皇學館は新理事長に圓藤恭久氏を選任した。就任は10月1日付。圓藤氏は広島県出身。昭和45年、本学文学部国史学科を卒業し、神宮へ奉職。後、本学大学院文学研究科国史学専攻修士課程を修了。神宮出仕、神宮

と、教職員が一体となり、建学の精神に則った教育・研究環境の充実に努める。また、館友や地域社会との連携を強化し、全学一体となって新時代の要請に応えていく。

就任のご挨拶

理事長 圓藤 恭久



この度、役員の改選に伴い、小串和夫理事長の後、大役を承り、十月一日就任いたしました。今さらながらその責任の重大さを痛感いたしております。この上は微力ながらも、母館発展の為に尽力いたしてまいります。存であります。何卒よろしく申し上げます。

さて、学園を取り巻く環境は誠に厳しいものがあります。ことに少子化にかかる諸問題は、いずれも喫緊の課題であります。

大学の使命は、教育、研究、社会貢献にあるといわれていますが、母館ではさらにその基底に「令旨」の具現化の実践があることは申すまでもありません。明治十五年の創立以来、「神道の精神を教学の根幹に据え我が国の歴史と伝統に根差した学問を究め、日本の尊厳と主体性を確立する学問教育の拠点」を目指しています。来る令和十四年には創立百五十周年再興七十周年の佳節の年を迎えます。

混沌とする時代、私たちはこの時にこそ、全学が一体となって諸先輩から受け継がれてきた道統を訪ね、力強く歩んで行かなければなりません。改めてご協力をお願い申し上げます。

圓藤 恭久 ◆えんどう やすひさ

略 歴

昭和45年3月	皇學館大学文学部国史学科卒業
昭和45年4月	神宮奉職(出仕)
昭和50年3月	皇學館大学大学院文学研究科国史学専攻修士課程修了
昭和50年6月	神宮本庁録事(神宮本庁へ出向)
昭和51年4月	神宮宮掌
昭和55年6月	神宮本庁主事(神宮本庁出向を解く)
平成元年3月	神宮権禰宣
平成元年3月	神宮本庁参事(平成19年3月迄)
平成元年7月	神宮評議員(平成19年3月迄)
平成19年4月	学校法人皇學館理事(平成25年3月迄)
平成25年4月	皇學館大学神職養成部長
平成27年7月	徳島県神宮社長(令和6年6月迄)
平成27年8月	神宮参与(令和6年3月迄)
令和元年7月	神宮本庁理事(令和4年5月迄)
令和4年5月	神宮本庁評議員(令和7年3月迄)
令和6年8月	徳島県神宮社顧問(現在に至る)
令和7年5月	学校法人皇學館常務理事
令和7年6月	大森比古神社名譽宮司(現在に至る)

役員一覧

令和7年10月11日付

理事長(理事3号)	圓藤 恭久	学校法人皇學館理事長
副理事長(理事3号)	齊藤 郁雄	神宮少宮司
常務理事(理事2号)	秦 昌弘	学校法人皇學館常務理事
理事(1号)	齋藤 平	皇學館大学学長
理事(2号)	芝崎 俊也	皇學館中学校・高等学校校長
理事(2号)	岡野 友彦	皇學館大学文学部長
理事(2号)	渡邊 賢二	皇學館大学教育学部長
理事(2号)	筒井 琢磨	皇學館大学現代日本社会学部長
理事(3号)	松野 高士	学校法人皇學館事務局長
理事(3号)	千秋 季頼	熱田神宮宮司
理事(3号)	葦津 敬之	宗像大社宮司
理事(3号)	井上 卓朗	大神神社宮司
理事(3号)	鈴木 健一	伊勢市長
理事(3号)	山 野 稔	伊勢商工会議所会頭
理事(3号)	濱田 典保	株式会社赤福顧問
監事	駒田 具夫	小野江神社宮司
監事	坂田 巧	有限会社大喜取締役会長



斎主は奥山哲也神職養成部長、祭員・伶人は神道学科生が務めた

新クラブハウスが竣工



完成したクラブハウス

かねてより建設が進められていた新クラブハウスが9月9日に竣工した。部活動における練習環境の改善とパフォーマンス向上を目的とした本施設は鉄骨造3階建て。昨年11月1日に着工以来、およそ11カ月の工期を経て完成した。新クラブハウスの1階は自転車置き場として184台の収容が可能。2階はクラブ部室17室、学友会室、印刷室、多目的ホールを備える。3階にはさらに24室のクラブ部室が設けられ、学生が快適に活動できるスペースを確保した。また、全部室にエアコンとWi-Fiを完備。エレベーターも設置されるなど、利便性と快適性が大幅に向上している。竣工祭は9月9日、新クラブハウス2階において執り行われ、大学関係者や工事関係者が列席し、新施設の完成を祝った。また、伊藤工務店様から壁掛け時計3台をご寄贈いただいた。今後、この新クラブハウスが部活動における新たな拠点となり、多くの成果を生み出すことが期待される。

構造 ◆ 鉄骨造3階建て
面積 ◆ 建築面積 495.83㎡
延べ床面積 1449.88㎡

皇學館大学は、令和14年に 創立百五十周年・再興七十周年を 迎えます。



令和7年度
三重県教員採用試験において
過去最多の合格者!
3面にて詳報



長年、建替えが望まれていた大学の新クラブハウスが令和7年9月9日に竣工した。総工費約3億7000万円。現行のクラブハウスは昭和58年に建てられたもので、築40年が経過していた。つくりもいわゆる工事現場の飯場を思わせるものだった。老朽化による一部のドアが開かない、建築当時には配慮がなかったため、トイレの壁が薄くて使用時に気になるなどの課題があった。最近出た令和6年度の『文部科学白書』では、「スポーツ立国の実現」の中で、大学スポーツ活動の振興を図るため、大学が有するスポーツ資源を活用して地域の課題を解決するためのモデル事業に取組んでいることが報告されている。▼本学でも伊勢市と連携して皇學館大学合同体験教室を開き、令和7年度は、サッカー、バスケットボール、卓球、空手、陸上競技、駅伝競走、野球の7種目の開催が予定されている。▼こうした課外活動の拠点となるクラブハウスの環境改善が図られたことにより、さらに充実した活動が期待できる。▼このほか、一階部分は吹き抜けの駐輪場となり、自転車の雨ざらしに対策が講じられた。



悠仁親王殿下を奉送迎

皇室で40年ぶりとなる男性皇族の成年式に臨まれた悠仁親王殿下が9月8日、伊勢神宮を参拝され、本学の教職員と階位講習会の受講者約130名が奉送迎を行った。

午前9時前ごろ、外宮御参拝を終えて内宮に向かわれる殿下を白衣白袴姿の講習会受講者らが日の丸小旗を振り奉送迎。さらに10時ごろ、内宮御参拝を終えて宇治山田駅へと向かわれる殿下を、大学の教職員や学生らが奉送迎した。

奉送迎者の前では御料車の速度を緩められ、殿下には、親しくお手を振られて応答いただいた。参加者からは「初めてお会いすることができ良かった」「優しい笑顔を向けていただいた」などの声が聞かれた。

令和 7 年度 皇學館館友会 全国大会を開催



備中神楽「八岐の大蛇退治」

8月24日、ホテルグランヴィア岡山において令和7年度館友会全国大会が開催された。当日は神宮大宮司代理の齊藤郁雄様、岡山県神社庁庁長の藤山知之進様、本法人の小串和夫理事長をはじめ、多くのご来賓をお招きし、合わせて約240名の卒業生らが集った。

千秋季頼会長は冒頭、戦後80年にあたり犠牲となったすべての方々に哀悼の意を表した。また開催地である岡山県支部への感謝の言葉を述べた。その後、議事を経て、備中地方に伝わる五穀豊穡・家内安全を祈る「備中神楽」が披露された。

続く懇親会では、岡崎義弘岡山県支部長から歓迎の挨拶の後、桃太郎伝説をモチーフとし「共生と融和」をテーマ掲げた「うらじゃ踊り」が披露された。その後懇親を深め令和8年度北海道全国大会での再会を約束し、惜しまれながら散会となった。

皇學館中学校、令和 9 年度より生徒募集を停止

本法人は、皇學館中学校の生徒募集を令和8年度入学者を最後に停止し、全在校生の卒業をもって閉校することを決定した。



皇學館中学校は昭和54年4月に開校。令和7年3月までに2,269名の卒業生を輩出してきた。現在の募集定員は35名(1クラス)だが、平成29年度以降は入学者数の減少が顕著となり、今年度は10名となっていた。

本法人は通学圏である県内南勢地域の少子化を踏まえ、教育内容の魅力化や入試制度改革を進めてきた。しかし、12歳人口の大幅な減少という構造的な問題には抗しがたく、今後この地域で私立中学校を維持していくことは困難と判断した。

令和二年三月二十六日付にて佐古前理事長のご逝去をうけ、理事長に就任いたしましたして早五年半、在任中何かを成しえたのかを考えますと忸怩たる思いであります。特に就任時は新型コロナウイルスの蔓延が始まった頃でした。それから令和五年五月に五類に移行するまでの約三年間、学園は教学面、運営面ともに外出もままならず、大変な制約の中になりました。このコロナ禍の三年間教職員一丸となつてこの難局を乗り越えることができましたこと、ただただ感謝の一語に尽きます。そのような中、令和四年には創立百四十周年、再興六十周年を迎え、彬子女王殿下のご臨席を仰ぎ、記念式典を挙行できたことがうれしい思い出であります。

本学では令和十四年に創立百五十周年、再興七十年を迎えます。急速に進む人口減少社会にあつて学校経営は非常に厳しい状況であります、新しい理事長のもと、全学一体で邁進されますことをお祈りして、退任のあいさつとします。



退任のご挨拶

小串 和夫

この九月末日、高齢の故を以つて退任いたしました。お世話になりました教職員の皆様はじめ多くの関係者に厚く御礼申し上げます。振り返ってみますと、

学食に朝食が登場！ 9/19から新メニュー始まる



食事だけでなく、憩いの場としても賑わう学生食堂



朝食メニューの一例。
ごはん／パン、スープとおかずを選ぶ

学生食堂が9月19日にリニューアルした。8時から9時30分までは朝食メニューを提供。メインの他に、納豆や温泉卵、お浸しなどの和スタイル、チキンナゲットやオムレツ、サラダなどの洋スタイルのおかずが日替わりで並び、好きな2品を選ぶため、毎日違う組み合わせを楽しめる。



井ものからパスタ、ラーメンまで、豊富なメニューが揃う

約1600人が皇學館の学びを満喫 「皇學館DAY2025」を開催



「昆虫の中にいるハチって知ってる?」で昆虫について話を聞く参加者



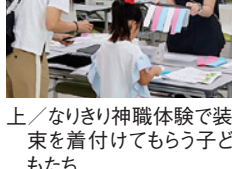
ボッチャ、モルック、カローリングなどのインクルーシブスポーツを体験



紙飛行機の作り方について説明を受ける参加者



上／なりぎり神職体験で装束を着付けてもらう子どもたち



下／親子教室でオリジナルの提灯作り



ペットボトルジャングル作りに熱中する子どもたち



会場も一体となり、盛り上がった高等学校吹奏楽部による定期演奏会

9月15日、「皇學館DAY2025」が皇學館大学・高校・中学校の合同開催で行われた。会場の三重県総合博物館 Mienmu には約1600人が来場し、多彩な「学び体験プログラム」が好評を博した。

大学による「なりぎり神職体験」や、ボッチャなどを楽しむ「インクルーシブスポーツ体験」には多くの家族連れが参加。「昆虫の中にいるハチって知ってる?」プログラムは実物のアワヨトウの幼虫や寄生蜂を用いた観察実験を行い、定員を超える人気ぶりであった。高校は「ペットボトルジャングル」、中学校は「スーパードラゴン」の制作教室を実施し、来場者はそれぞれ特色ある

また、三重県文化会館大ホールで行われた皇學館高等学校吹奏楽部による第18回定期演奏会には約1300人が訪れ、迫力あふれる演奏に魅了された。

151名、過去最高の合格者数

令和7年度 三重県教員採用試験の合格状況

三重県教員採用試験において、本学は既卒者を含め151名の合格者を輩出し、過去最高の合格者数を記録した。

これは、昨年度に引き続き小学校1次試験の会場を本学に誘致し、受験生が慣れた環境で試験に臨めるようにしたことに加え、各対策講座や教職アドバイザーによる指導の強化・充実を図った成果といえよう。さらに、倉志会・つばさの各勉強会も活発に行うなど、万全の態勢で支援したことが実を結んだ。

小学校は112名(現役52名)が合格し、三重県全体の合格者に占める本学の割合は41.0%と14年連続三重県トップ。また中学校・高等学校では36名(現役11名)、特別支援学校は3名(現役1名)が合格を果たした。

また3年生受験(小学校)においては95名が合格し、三重県全体の3年生合格者に占める本学の割合は43.5%となった。

三重県以外では現在5名が現役合格している。

また、公立幼保職は9市町16名(伊勢市・鳥羽市・志摩市・松阪市・四日市市・亀山市・鈴鹿市・明和町・名古屋市)が現役合格した。

まだ選考途中の自治体もあり、ひとりでも多くの学生が現役合格できるよう支援を強化している。

高田高の生徒が文化庁長官 賞受賞を学長に報告

本学と連携協定を結んでいる高田高校の稲地美沙紀さん(3年)が8月6日、所属する同校放送部の文化庁長官賞受賞を齋藤平学長に報告した。これは、7月に香川県で開催された第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文祭2025)の放送部門〈ビデオメッセージ部門〉で同校放送部の「三重弁でときめきたい!」が受賞したことを受けて。作品は総文祭の趣旨である「地域や郷土文化の発信」に基づき「方言」をテーマに高校生の視点で三重弁の魅力を紹介しており、齋藤学長は三重県方言の専門家として出演している。受賞について稲地さんは「方言という切り口から三重の魅力を伝えました。三重弁の素晴らしさが認められて嬉しい」と喜びを語った。



応募作品はこちらから▶

全国6会場で 地区別教育懇談会を実施

今年度の「地区別教育懇談会」も昨年度と同様に、各学科の教員との個別懇談の形式にて実施された。



全国6会場(浜松・津・東京・伊勢・名古屋・大阪)で実施され、会場においては、「進路について子どもが悩んでいたので、相談ができて良かったです。具体的なお話も聞くことができたので、子どもから相談されたときに話してみようと思います」「学校での様子が聞けて良かったです。今後は就職についての話も子どもとしてみようと思います」とのお声をいただいた。また、今回は学食のリニューアルのタイミングと重なったため、伊勢会場にて学食体験が行われ、「子どもと同じメニューを食べられて嬉しい」とのお声をいただき、大変好評であった。

国文学科 平石 岳助教

文章能力向上のためのレポート執筆と、 学修者自身による見直しの時間の設定

平石岳助教は学生に課す期末レポートについて、提出前に学生自身に文章を見直させることで、文章作成能力を高める指導を行っている。具体的なチェック項目として、誤字脱字、助詞、段落作成と行頭の一字下げ

等の基本ルールを挙げ、提出前に修正した場合は減点しないと指示。これにより、ほとんどの学生が自身のレポートを改善して提出する。この過程を通じて、学生が文章作成とは見直しまで含む作業であるとの認識を深めている。



教育学科では令和3年度から4年間、教職を希望す



ICT教育特別講座の計画・実施における リーダーシップ

教育学科 市田敏之准教授

授業改善等に著しい貢献をしたとして、「令和6年度優良教育実践」に教育学科・市田敏之准教授、国文学科・平石岳助教が選ばれた。

市田准教授、平石助教が選出

令和6年度優良教育実践

る4年生を対象に、学校現場で必須とされる「ICTを活用した学習指導力」の習得をめざし、課外講義・演習を実施した。この取組みの全体計画と運営を主導したのが市田敏之准教授だ。成果として、学生が実践

的な知識と技能を得たほか、教員養成機関である本学としても学修内容や教授方法、評価法についての有益な示唆を得た。また、詳細を学部ホームページで公開し、広報活動にも貢献。さらに学科会議で成果を共有したうえで、令和7年度には学科の新たな取組み「ICT教育推進プロジェクト」へと発展させている。

「GIS Day in 伊勢」を開催

8月21日、本学にて「GIS Day in 伊勢」が開催され、地理情報システム(GIS)の活用法について、学生や教育者DX関係者など多様な参加者が活発に意見を交換した。

午前の部(10~12時)は東京大学空間情報科学研究センターの岩井優祈特任助教と本学教育開発センターの池山敦准教授が講演を行った。「変わりゆく社会とGIS-DX・防災・教育・多様性」との演題で登壇した岩井氏は、GISの特性を「位置」と「属性」を扱う点にあると述べた。地図が主に見る・読む道具であるのに対し、GISは複数の情報を重ね合わせ新たな地図を生み出すと解説。例えば、公園の利用者が園内のどの場所を最も撮影しているか視覚化すること、観光資源やごみ箱の最適配置のヒントが得られるなど、発想次第で応用範囲が無限に広がると話した。



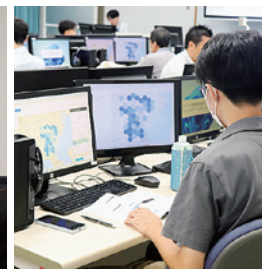
最新のGIS研究を語る
岩井特任助教

午後の部(13~17時)はGIS講習会が実践形式で行われた。コミュニケーション学科の栗林梓助教が担当した「地理・情報教育コース」では「今昔マップ」をはじめとする複数のWebGISを参加者が体験。都市化の過程を可視化する演習などを通じて、GISの持つ利便性と可能性を肌で感じ取る時間となった。

池山准教授は地域づくりにおいてGISは強力なツールになると言及。子どもたちによる防災マップの作成や玉城町での事例として、ドローンをういて水田のジャンボタニシの卵の発生状況をマッピングし、駆除や対策に役立てているといった活用例を紹介した。



講習会で指導する
栗林助教



実際にGISを体験する参加者たち

上野ゼミ生11名が昴学園「探究授業」のメンターに

三重県大台町にある県立昴学園高等学校が令和6年度から文部科学省の指定を受け、実施している探究学習「大台探究」に、教育学科・上野祐一准教授の3年生のゼミ生11名がメンター(助言者)として参加。5月15日に初めての合同授業がオンラインで行われ、高校生たちの学びを支援する活動がスタートした。

メンターを務めた山路彩生さん(教育3)は授業を振り返り、自身のコメントがヒントや批判と受け取られないよう、言葉選びには細心の注意を払う必要性を感じたという。また、探究の過程で当初の目的を見失わないよう適切にサポートし、生徒たちが自ら気づき、探究を進められるような声かけができるようにしたいと話した。



オンライン上でやり取りする学生たち

上野准教授は情報や数学などの教科を重視したカリキュラムや、ICTを活用した文理横断・文理融合的な探究学習が進むことに期待を寄せ、「今後の教育現場では正解がない問いに対し、自ら最適解を導き出す力が求められる。今回の活動は、学生自身にとっても主体的に考える力を養う良い機会になる」と話した。

この連携は令和11年まで継続される。



令和6年度より「文部科学省高等学校DX加速化推進事業」に採択された昴学園高校と連携

Global グローバル

第20回 皇學館中学校・高等学校 英語スピーチコンテストを開催



左から藤井さん、濱崎さん、東さん

8月23日、第20回英語スピーチコンテストが開催された。本スピーチコンテストは英語学習に意欲的に取り組んでいる県内の小学生や中学生に英語によるスピーチの機会を提供するとともに、皇學館中学校・高等学校での英語教育、国際教育の一端を知っていただくことを目的に実施している。

今回は小学生のみを参加対象とし、「Beginner」と「Advanced」の2部門による構成にて実施。参加者の方々は各部門における課題文をそれぞれアイデアに富んだジェスチャーに乗せて披露し、練習の成果をいかに発揮した。審査員である角屋貴久学監は、「参加者たちの発表に向けた熱量が伝わってきた。この日のために鍛錬した過程を自信に変え、今後の英語学習に磨きをかけてもらいたい」と述べた。結果は以下の通り。

Beginnerの部		テーマ●Japanese martial arts(日本の武道)
優勝	濱崎 司 さん	(外城田小学校)
準優勝	東 依呂春 さん	(有緒小学校)
Advancedの部		テーマ●Kimono(着物)
優勝	藤井 芽愛 さん	(南が丘小学校)

人事異動

()内は旧職

大 学

令和 7 年 9 月30日付

退職 学生支援部学生担当事務嘱託 池田 千夏

令和 7 年10月 1 日付

採用 財務部会計担当事務嘱託 大西 悦子
学生支援部入試担当事務嘱託 浅井 誠司

配置換 学生支援部学生担当書記補 松田 悠佑
(学生支援部入試担当書記補)



英語で交流を深めることができた。日本のお菓子を配ったり、文化を紹介したりする中で、言葉や文化の違いを超えてつながれた。

この研修を通して、「わからなかったら人に聞く」「まずは挑戦してみよう」「失敗を恐れない」ことの大切さを実感しました。英語に自信がなくても、一歩踏み出す価値のあるプログラムだと心から思います。



上／アボンデール・プライマリースクールを訪問し、日本の文化を紹介
下／ローズヒル校の先生による最先端のVR技術を用いた授業に参加

◆温かく接してくれたホストファミリーのおかげで家族の一員として生活できた。英語での会話にも自信が持てるようになった。
◆ホストファミリーは会話のたびに私がきちんと理解できているか確認してくれた。相手を大切にする姿勢に感銘を受け、私もそのような生き方をしたいと思った。

まずは「挑戦」
現代日本社会学科2年 堀 綾花
この研修を、行動や決断が苦手な自分を変える一歩と捉え、参加を決めました。英語が苦手で不安な気持ちもありましたが、現地では買い物の際、つたない英語でも親切に対応してくれたり、日本人だと知ると好意的に話してくれたりする人が多く、嬉しさを感じました。

ことは、貴重な経験となりました。また、先生方の手厚いサポートも大きな支えでした。授業で聞き取れないときも、わかるまで丁寧に説明してくれたおかげで、安心して発言できるようになり、自信を持てました。一方で、道で突然怒鳴られ怖い思いをしたことや、映画館でのスマートフォンを見たりする人が多いことに驚きましたが、これも異文化に触れる機会だと思い受け止めることができました。周りを気にせず振る舞う人々の姿は衝撃的で、こうした自由な雰囲気もマレーシアの魅力の一つだと思います。このような体験は普段、人の目を気にしすぎてしまう私にとってむしろ居心地の良さを感じました。

生徒たちはシドニーでの市内観光から始まり、ホームステイ、ローズヒル校での授業参加、動物園訪問、文化紹介活動など、多岐にわたる経験を積んだ。英語で挑戦する難しさや、新しい出会いから学ぶ喜びを実感したようである。最終日のフェアウェルパーティーでは日本で準備したアクティビティや発表を披露。書道やゲームなどを通じて交流を深め、会場は笑顔と歓声に包まれた。以下に生徒の感想を紹介する。

◆自分の気持ちをジェスチャーや言葉でしっかり伝えることの大切さを学んだ。言葉や文化の違いを超えて多くの人と心を通わせた経験はかけがえない宝物になった。
◆英語は完璧でなくていいと思えたことで、気楽に話せるようになった。同時に力不足も実感したので、もっと勉強したいという意欲が湧いた。
◆国を超えて友情を育めたことは大きな宝。異文化の中で自身の価値観が広がり、多様な考え方や習慣を尊重する大切さを改めて実感した。

マレーシア・アジアパシフィック大学夏期語学研修 言葉や文化の違いを 超えてつながる



マレーシア・アジアパシフィック大学夏期語学研修が8月3日から31日にかけて行われた。参加した堀綾花さん(現日2)が現地での貴重な体験と、得た学びを語った。

異文化交流、世界へ視野広げる 高等学校オーストラリア語学研修

7月28日から8月9日にかけて、皇學館高等学校の生徒8名がオーストラリアのシドニー・メルボルンで語学研修に参加した。生徒たちは異文化に触れる中で視野を広げる機会となった。

生徒たちはシドニーでの市内

歌代勇祐さんが ケニアで柔道指導者として活躍

皇學館柔道を世界へ!

日本人として初めて国際柔道連盟(IJF)と個人契約を結ばれたそうですが、最初にその話があった時のお気持ちは?

歌 青年海外協力隊としてブータン王国で柔道指導をしていた際のご縁で、IJFからお声がけいただきました。自分のような若輩者が受けてよいのかと重圧を感じつつも、任された以上は力の限りを尽くそうと決意しました。



歌代勇祐さん



ナショナルチームを指導する歌代さん

佐 歌代先生は任期が終わった後、さらに2年半にわたってブータン王国に留まり、指導を続けていました。その熱意が評価された結果であり、IJFからの依頼は必然だと感じています。

佐藤部長の教えや柔道部での経験は、現在の柔道指導に生かされていますか?

歌 私の指導のすべては、佐藤部長から学んだことに集約されます。ブータン王国で指導を始めた当初、経験がなかったため、自身が柔道部で身に付けた礼法や技術をそのまま実践しました。特に「前向きに」との佐藤部長の教えは、困難を乗り越える上で大きな支えとなっています。

佐 歌代先生が在籍していた頃の柔道部は、チームとして再構築を図っていた最中でした。当時、私が部員に伝えていた「前を向いて進むしかない」「皇學館柔道



佐藤武尊部長

本学卒業生の歌代勇祐さん(教育学科・平成30年卒)が、国際柔道連盟(IJF)の依頼を受け、令和6年5月から柔道指導者としてケニア共和国で奮闘している。IJFが個人と契約を結ぶのは日本人初の快挙だ。遠い異国の地で皇學館柔道精神を伝え、柔道普及の道を切り拓く歌代さんと、その活躍を温かく見守る恩師・佐藤武尊柔道部部長に話を伺った。

に誇りを持って」との教えを歌代先生がケニアの地で実践されていると聞き、嬉しく思います。

ケニアの柔道選手の強み、特徴は?

歌 手足が長く身体能力に優れ、さらに柔道への熱い思いを持っているため、指導していて非常にやりがいを感じます。良くも悪くも「緩い」ので、以前は報奨金目的で実力に見合わない選手が試合に出場するといった状況もありましたが、私が着任してからは、トップレベルの選手を厳正に選出するようになりました。国際大会への出場が直前に決まるなど運営面での課題は



「熱心なため指導していて楽しい」と話す歌代さん

ありますが、少しずつ改善していきたいと思います。

昨年のダカールアフリカンオープンでは銀メダルを含む4つのメダルを獲得し、国中が喜びに沸いたと伺いました。この成果を踏まえ、今後の目標を教えてください。

歌 アフリカ地域での優勝と、2026年ユースオリンピック、2028年ロサンゼルスオリンピックへの出場をめざします。

佐 学生時代から誰よりも熱心に学び、常にメモを取る姿が印象的でした。今も「皇」の文字が入った柔道着を着ている姿を見て、本学への深い愛と誇りを感じます。唯一無二の指導者として、これからも皇學館大学の名を背負い、健康に留意しながら頑張ってくださいね。

現地での様子はこちらから▶

出典：認定特定非営利活動法人JUDOs
ハクナ・マタタ・ウタタン日記



雅楽部が宇治山田駅で演奏



本学雅楽部が8月5日、近鉄宇治山田駅で演奏会を催し、駅舎に雅な音色が響き渡った。午後1時、2時、3時の計3回にわたり、「越天楽」「豊栄の舞」といった古典曲や「もののけ姫の曲」を披露した。「もののけ姫の曲」は和楽用の楽譜がないため自分たちで主旋律を採譜し、副旋律と伴奏を創作して演奏。平日にもかかわらず約80名が来場し、盛況のうちに終了した。楽器の歴史について熱心に質問する観客もあり、雅楽の魅力を伝える貴重な機会となった。青木香澄さん(神道2)は由緒ある駅での演奏を「光栄」と語り、「聴きに来てよかったと思っていただけるよう、練習に励んできた。予想を超える来場者数に嬉しさと緊張を感じつつ、無事に演奏を終えることができホッとしている。労いの言葉をかけてくださる方もいて、心が温まった」と話した。今後も同駅の協力のもとイベントを開催していく予定。

ダンス部がイベントに出演



8月12日、本学のダンス部「ALLURE」が、名古屋で開催された学生主体の文化祭「CAMPUS COLLECTION」に出演し、圧巻のパフォーマンスで会場を沸かせた。代表の大垣内友菜さん(教育3)は、チームがこのイベントを通じて大きく成長したと語る。特に、初めてのステージで堂々と踊る後輩たちの姿を誇りに感じ、「卒前前の良い思い出になった」と喜びを口にした。ALLUREの強みは「自由さ」。特定のジャンルに縛られず多様なダンスに挑戦するだけでなく、指導者がいないため、振り付けから構成、練習内容まですべてを部員自身で作り上げる。「踊る人の数だけ個性や味がある」とダンスの魅力を語る大垣内さん。また、部活動を通して、互いを思いやる気持ちや計画的に行動する大切さを学び、大学生活にも生かされていると話した。倉陵祭に向け、進化し続ける彼らのパフォーマンスに注目だ。

令和7年度 夏季フィールドワーク(9月実施分)

学科	引率教員	日 程	目的地・方面
国 内			
国 文	大 島 信 生	9/10(水)～9/12(金)	福岡
	岡 野 裕 行	9/7(日)～9/10(水)	東京
	木 村 尚 志	9/8(月)～9/11(木)	沖縄
	齋 藤 平	9/5(金)～9/8(月)	岩手
	田 中 康 二	9/8(月)～9/11(木)	東北～関東
国 史	平 石 岳	9/4(木)～9/6(土)	石川
	遠 藤 慶 太	9/3(水)～9/5(金)	福岡・佐賀
	岡 野 友 彦	9/3(水)～9/6(土)	北海道
	多 田 貴 道	9/8(月)～9/11(木)	中部～関東
	谷 戸 佑 紀	9/7(日)～9/9(火)	北海道・青森
コ ミ	松 浦 光 修	9/4(木)～9/5(金)	山口
	栗 野 理 恵 子 中 山 真	9/7(日)～9/10(水)	北海道
海 外			
国 文	上 倉 一 志 下 道 信	9/4(木)～9/6(土)	中華人民共和国
	栗 林 梓 高 沢 佳 玉 田 貴 張 裕 裕 チエロ ディエロ 豊 住 誠	9/3(水)～9/6(土)	中華人民共和国

※上記以外のフィールドワークについては、2～3月に実施する予定です。

Culture & Sports
カルチャー&スポーツ



ご挨拶される榊子女王殿下
「難しかったが、集中して作業できた。初めて作ったが、違う種類も作成してみたと思つた」、伊川和さん(国史3)は「実際に奉納されるものなので緊張したが、楽しくできた。完成した御花神饌が飾られているところを見学したい」と語った。本学教員と学生代表6名が石清水祭に参列し、学生全員で協力して完成させた御花神饌をお納めした。

榊子女王殿下が総裁を務めになられ、本学も会員である「心游舎」のワークショップが、8月5日に本学・佐川記念神道博物館において開催され、学芸員課程を履修している3・4年生24名の学生が「御花神饌づくり」を体験した。5回目の開催となる今回は、染色家・吉岡更紗氏をはじめ、染織工房「染司よしおか」の方々の手ほどきのもと、榊子女王殿下にもご参加いただき、学生と和やかにご懇談されながら、椿と竹を制作した。参加した学生は、榊子女王殿下が冒頭のご挨拶で述べられた「自分が作ったお花が神様のお花になることを思い浮かべながら、心を込めて作っていただけたら」のお言葉に、それぞれの思いを馳せながら、樹木の枝や、自然素材で染められた和紙、お米をすり潰した糊など、普段使い慣れない材料と繊細な作業に苦心しつつも、真剣な表情で一つひとつ心を込めて御花神饌を完成させた。参加した奥野侑里さん(国史4)は「難しかったが、集中して作業できた。初めて作ったが、違う種類も作成してみたと思つた」、伊川和さん(国史3)は「実際に奉納されるものなので緊張したが、楽しくできた。完成した御花神饌が飾られているところを見学したい」と語った。本学教員と学生代表6名が石清水祭に参列し、学生全員で協力して完成させた御花神饌をお納めした。

心游舎ワークショップ
真剣ながらも和やかな制作風景となった

※御花神饌とは、毎年9月15日に京都・石清水八幡宮で斎行される勅祭石清水祭に、12種の生花の代わりにお供える和紙で作られた造花

親子教室と松阪もめんワークショップが大好評

佐川記念神道博物館による親子教室が7月26日、27日に開催された。今年度は本学学芸員課程の博物館実習1a履修生の企画・運営による「切り絵ランプを作ろう」(7月26日)のほか、佐川記念神道博物館学芸員・神道研究所所員による教室「怪盗Sをさがせ!」(7月27日)も実施し、計65組169名にご参加いただいた。 「切り絵ランプを作ろう」では、切り絵や伊勢型紙の歴史を学んだ後、グループに分かれて工作を行った。学生による親子教室は今年度も大変好評であり「楽しく工作できた」「優しく教えてくれて嬉しかった」といった声を多く寄せていたが、学生たちにとって貴重な体験となった。

「怪盗Sをさがせ!」は、怪盗Sから宝を取り戻す謎解きゲームを通じ、博物館のルール・マナーを学ぶという企画。また、神道博物館では初となる一般を対象としたワークショップ「松阪もめんでストラップを作ろう!」(8月31日)を開催。34組72名にご参加いただいた。三重県の伝統工芸品や文化に親しんでいただくことを目的に企画、公益財団法人三重県文化振興事業団の助成を受けて実施した。手芸講師の石原美佳氏を招き、松阪もめんの歴史を学んだ後、実際の松阪もめんを使ったストラップを作成。参加者は小さなパーツに苦戦しながらも「かわいいストラップが作れた」「松阪もめんの歴史を知れてよかった」との声も多く、満足度の高い生涯学習教室を提供することができた。

佐川記念神道博物館による親子教室が7月26日、27日に開催された。今年度は本学学芸員課程の博物館実習1a履修生の企画・運営による「切り絵ランプを作ろう」(7月26日)のほか、佐川記念神道博物館学芸員・神道研究所所員による教室「怪盗Sをさがせ!」(7月27日)も実施し、計65組169名にご参加いただいた。 「切り絵ランプを作ろう」では、切り絵や伊勢型紙の歴史を学んだ後、グループに分かれて工作を行った。学生による親子教室は今年度も大変好評であり「楽しく工作できた」「優しく教えてくれて嬉しかった」といった声を多く寄せていたが、学生たちにとって貴重な体験となった。



集中して切り絵に取り組む親子



楽しく学ぶ様子が見られた謎解きゲーム



松阪もめんストラップを作る参加者

Event & Education
イベント&エデュケーション

オープンスクール・オープンキャンパスが盛況

夏の青空が広がった8月、本学園ではオープンスクールとオープンキャンパスが開催され、多くの来場者で賑わった。高等学校では8月2日、3日に「皇學館を知ろう」を開催し、高校吹奏楽部による歓迎コンサートや学食体験、部活動体験など多彩なプログラムを用意。また、3日は中高合同で開催され、本校の特色を理解していただき、学校生活の具体的なイメージを持つってもらう良い機会となった。大学では8月9日と10日にオープンキャンパスを実施し、両日で約1300人が来場。9日は高校1・2年生向けの体験プログラムや模擬講義などが行われた。翌10日は高校3年生を対象にAO対策セミナーや総合型選抜を中心とした入試説明会を開き、入試ポイントや勉強方法について紹介した。

夏の青空が広がった8月、本学園ではオープンスクールとオープンキャンパスが開催され、多くの来場者で賑わった。高等学校では8月2日、3日に「皇學館を知ろう」を開催し、高校吹奏楽部による歓迎コンサートや学食体験、部活動体験など多彩なプログラムを用意。また、3日は中高合同で開催され、本校の特色を理解していただき、学校生活の具体的なイメージを持つってもらう良い機会となった。大学では8月9日と10日にオープンキャンパスを実施し、両日で約1300人が来場。9日は高校1・2年生向けの体験プログラムや模擬講義などが行われた。翌10日は高校3年生を対象にAO対策セミナーや総合型選抜を中心とした入試説明会を開き、入試ポイントや勉強方法について紹介した。



歓迎コンサート(高校)



部活動体験(中学)



AO対策セミナー(大学)



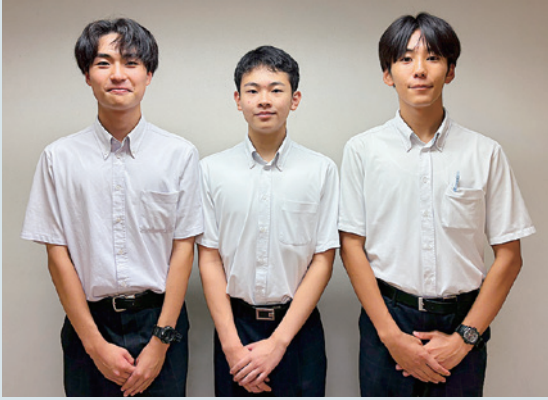
体験プログラム(神道学科)



神道博物館での体験コーナー

新校友会役員に 3 名が選ばれる

第63期校友会(生徒会)本部役員立会演説会が行われ、総務委員長に岡本成矢さん、総務副委員長に山下輝之さん、加藤煌貴さんが選ばれた。



左から山下さん、岡本さん、加藤さん

総務委員長 岡 本 成 矢

私は、第63期校友会で体育大会や皇高祭などの行事を盛り上がり楽しんでもらえるよう企画するのはもちろん、その他のボランティア活動など新しいことにも挑戦し、私たちだからこそできる取り組みをしていきたいと思います。そのために、校友会役員間で話し合うことを徹底してみんなの需要に応えられるようにしていきたいです。

総務副委員長 山 下 輝 之

皇學館中学校で総務委員長を経験して以来、久しぶりの校友会で慣れない部分もありますが、この学校をより良く、皆さんが過ごしやすい学校になるように努力します。これからも校友会活動にご協力をよろしくお願いいたします。

総務副委員長 加 藤 煌 貴

総務副委員長として、学校全体を盛り上げながら責任を持って仕事に取り組みたいと思います。最後まで応援をよろしくお願いいたします。

熱気に包まれた 2 日間

第63回 皇高祭開催

9月18日、19日の両日、第63回皇高祭「EXPO皇學館2025～ミライへ飛び出す、特別な日～」が盛大に開催された。

初日は本学神道学科と雅楽部の学生、本校神道文化研究会による厳粛な祭典で開幕。吹奏楽部の迫力ある演奏や、有志の生徒が指揮を務める「指揮者コーナー」は会場を大いに盛り上げた。午後には即興パフォーマンス集団「ロクディム」によるライブが行われ、生徒たちを魅了した。



厳かに執り行われた祭典(斎主:岡部博英教諭)

2日目はオンラインでのオープニングセレモニーに続き、校内に集まった多数のキッチンカーが来場者を楽しませた。体育館では生徒有志によるパフォーマンスやカラオケ大会が開催され、熱気に包まれた。閉会式では国民スポーツ大会に出場する生徒への壮行会も行われ、盛大な拍手の中、2日間の祭典は幕を閉じた。

皇高祭総務委員長の岡本成矢さんは「今回のテーマは、今年開催されている大阪・関西万博にちなみ、未来を見据え次世代へ継承する姿勢を大切にしてほしいとの思いから決められました。私たちの運営面で至らない点もありましたが、校内はどこも活気と賑わいにあふれ、大きな安心と喜びを感じました。この経験を今後へとつなげ、さらに充実した行事を企画していきたいです」と語った。



体育館で行われた有志によるパフォーマンス



さまざまな屋台の味を楽しむ生徒たち

三重県私立中学校フェア2025に参加

× ッセウイング・みえで7月21日に開催された「三重県私立中学校フェア2025」に本校を含む県内私立中学校10校が参加した。

本校の体験教室「生態系博士になろう～ペットボトルジャングルをつくる～」には120組以上の小学生が訪れ、子どもたちは好きな植物を選び、土や肥料などを調整しながら、地上と同じ生態系を持つ自分だけのペットボトルジャングルを熱心に作り上げていた。

本校のブースには個別相談や英語体験コーナーなども設けられ、全体で約160名の来場者が集まった。また、本校の中学生8名も補助員として活躍。体験教室の司会や制作の手伝いなど、小学生のサポート役を熱心に務めた。



ペットボトルジャングル作りに取り組む参加者

サポートをした生徒の感想

「ありがとう」の言葉に喜び

3年A組 前田 愛莉珠

今回の私学フェアでは、理科ブースで司会を務めました。実際にやってみると、緊張して思うように話せず、時間内にうまく進行するのが難しかったです。

参加してくれた小学生が楽しんでくれているか心配でしたが、みんなが嬉しそうに作業しているのを見て、不安は次第に消えていきました。私が手伝

ったときに「ありがとう」と笑顔で言ってもらえたことも、励みになりました。最後には、私自身も心から楽しみ、役割を終えることができました。

人に何かを教えることの難しさを知ると同時に、それが相手に伝わったときの喜びを味わうことができた、貴重な機会でした。

中学校

令和7年度 皇學館高等学校同窓会 総会・懇親会を開催



8月2日、伊勢シティホテルにおいて、皇學館高等学校同窓会総会および懇親会が開催された。当日は現同窓会委員をはじめ、歴代の同窓会会長ならびに多くの同窓会員の方々が来場された。総会は上村浩規幹事長(第19期生)の開会の辞に始まり、森大亮会長(第19期生)挨拶の後、小塚邦代教頭(第18期生)が校長挨拶を代読した。その後、森会長議長のもと協議事項が挙げられ、小塚教頭から前年度および今年度の各種事業報告や計画案の説明、山村智彦事務部長から決算報告と予算案の説明がなされた。また、役員改選案が挙げられ、新会長の美濃松謙氏(第25期生)他の新役員が承認された。挙げられた事項は慎重に協議され、総会は滞りなく終了した。

続いて、懇親会がスタート。旧・新会長及び小塚教頭の挨拶に引き続き、駒田具夫初代会長(第1期生)より乾杯のご発声をいただいた。ビュッフェ形式の食事に舌鼓を打ちながら各所において交流がなされ、会場は和やかな雰囲気にも包まれた。また、新会員の方々(第60期生)も来席し、世代の枠を超え、話に花を咲かせた。最後に橋本豊行第5代会長(第3期生)より神宮御遷宮についてのご案内と激励の言葉をいただき、一本締めで閉会となった。

イベントカレンダー

各講座の詳細は本学ホームページでご確認ください。

🕒時 📍所 (■本学 ■他) 💰料金 👤対象 📅予約 📞問合先

10月

18土 神道博物館教養講座 第2回
四親王家の江戸時代
講師 吉野健一氏(文化庁文化財調査官)
🕒14:00～15:30
📍佐川記念神道博物館 講義室
💰無料 👤一般 📅必要
📞佐川記念神道博物館 0596-22-6471

11月

10月 神道博物館企画展
久邇家の至宝
—昭和100年をむかえて—
🕒11月10日(月)～12月20日(土)
📍佐川記念神道博物館 第2展示室
💰無料 👤一般 📅不要
📞佐川記念神道博物館 0596-22-6471

15土 神道博物館教養講座 第3回
伏見宮貞成親王とその文化活動
講師 岡野友彦(文学部教授)
🕒14:00～15:30
📍佐川記念神道博物館 講義室
💰無料 👤一般 📅必要
📞佐川記念神道博物館 0596-22-6471

22土 神道博物館教養講座 第4回
企画展「久邇家の至宝」ギャラリートーク
講師 浦野綾子(研究開発推進センター准教授)・小林郁(研究開発推進センター助教)
🕒①10:00～11:00 ②13:00～14:00
📍佐川記念神道博物館 講義室・展示室
💰無料 👤一般 📅必要
📞佐川記念神道博物館 0596-22-6471

30日 よんぶんセミナー～皇學館大学公開講座～ 第4回
四日市市内の伊勢参宮街道
—『伊勢参宮名所図会』を題材として—
講師 岡野友彦(文学部教授)
🕒13:30～15:00
📍三浜文化会館 視聴覚室
💰無料 👤一般 📅必要
📞四日市市文化会館 059-354-4501

令和 7 年度 生涯学習事業
皇學館大学 月例文化講座

年間テーマ

書物の世界 申込み、詳細はこちら 📄📄📄
担当●国文学科

会場●皇學館大学 431教室(4号館3階)
時間●各回とも 14:00～15:30
受講方法●対面形式とオンデマンド配信
定員●各回100名(先着順) 聴講料無料・要申込

第7回 11月29日📅 上小倉 一志 教授
拓本の世界

第8回 12月13日📅 齋 藤 平 学長
方言集の世界

オンデマンド配信のお知らせ

ご好評いただいた令和6年度月例文化講座「伊勢とご還宮」をオンデマンドにて配信しています。

テーマ●伊勢とご還宮 担当●神道学科

配信期間 令和7年12月25日まで

第1講 板井正斉教授
伊勢の「お木曳き」行事と伊勢の「白石持ち」行事

第2講 橋本雅之教授
斎宮の文学 澤瀉文庫の「斎宮女御集」

第3講 松本丘教授
江戸時代の神宮と式年遷宮

第4講 中山郁教授
聖地への案内者 一御師と先達

第5講 高野裕基准教授
近代の神宮

第6講 河野訓教授
第63回式年遷宮に向けて

お申込み

右の二次元コードからお申込みください。
聴講料は無料ですが、通信にかかる費用は受講者のご負担となります。

📄📄📄

月例文化講座 お問い合わせ先
皇學館大学 地域連携推進室 TEL 0596-22-8635

Information

インフォメーション

令和8年度生

皇學館中学校・高等学校
(6年制)募集要項

出願資格 令和8年3月小学校卒業見込みの児童

S日程

特別専願

PBLプレゼン型 館友推薦型

出願期間 令和7年12月8日(月)～25日(木) 15:00まで

試験日時 令和8年1月5日(月) 8:35集合

試験教科 ●基礎学力試験(国語、算数) ●基礎学力試験(国語、算数) ●課題解決調べ学習とプレゼンテーション ●作文(400字程度)(合わせて120分)

A日程

一般型 専願型

出願期間 令和7年12月8日(月)～令和8年1月8日(木) 15:00まで

試験日時 令和8年1月11日(日) 8:35集合

試験教科 国語、算数 社会、理科、英語 国語、算数
※国・算は必須。社・理・英から2教科選択し、得点の高い1教科を採用 ※英語外部試験の有資格者に加算

B日程

A日程入試の後に再チャレンジすることができます。

出願期間 令和8年1月14日(水)～28日(水) 15:00まで

試験日時 令和8年1月31日(土) 8:35集合

試験教科 ●学力試験(国語・算数) ●意見文
資料を読み取ったり文章を読んだりして自分の考えを決められた字数でまとめます。

オープンスクールのご案内

要申込(ホームページにて約1カ月前から受け付けます)

第3回オープンスクール
～皇學館で学ぼう～

日時●令和7年11月2日(日) 9:30～

対象●小学校6年生

内 容 ●学校説明 ●入試説明 ●個別相談 ●入学試験対策授業

皇中祭見学会

日時●令和7年11月15日(土) 9:30～

場所●中学校校舎

内 容 皇中祭(文化祭)見学 など

※台風接近による悪天候の場合などにより、予定の変更または中止となる場合があります。事前にホームページでご確認ください。

問合せ先
皇學館中学校 TEL 0596-23-1398(代)

令和8年度生

皇學館高等学校 募集要項

募集定員 全日制課程：普通科 315名(予定)

募集コース SC(進学)コース・AC(特別進学)コース

願書受付(ネット出願) 令和7年12月1日(月)～令和8年1月6日(火) 15:00まで

令和8年1月27日(火) 10:00～16:15

教科 国語・数学・英語*・理科・社会(マークシート方式)
*英語はリスニングテストを含む。
以下は試験範囲から除く。
数学…『図形』のうち「三平方の定理」および『データの活用』のうち「標本調査」
社会…『公民』分野の「私たちと国際社会の諸問題」
理科…第2分野の「自然と人間」

入学試験

会場 皇學館高等学校(本会場)、大原簿記情報医療専門学校(津会場)
追試験：インフルエンザ等でやむを得ず、入学試験を欠席した場合、追試験を受けることができます。入学試験当日に、各中学校から欠席理由を申し出て、追試験の手続きをしてください。

●特 典 皇學館大学への進学希望者には、附属高校推薦・入学免除などの特典があります。

●推薦および特別奨学生について

1. SC(進学)コース、AC(特別進学)コース、それぞれに推薦制度(専願)があります。

2. 所属中学校長の推薦書により、学業・人物優秀と認められる生徒に対しては、学力特別奨学生として、また顕著な競技実績をもつと同時に、本校の授業内容を習得できる学力を有し、人物優秀な生徒に対しては、スポーツ・芸術推薦及びスポーツ・芸術特別奨学生として受験できる制度があります。

●推薦入試(専願)について

推薦入試は、一般試験と同一日、同一問題で実施します。

学力推薦 中学校での学習成績を考慮した入試制度

スポーツ・芸術推薦 クラブ活動等(社会体育活動を含む)の実績を生かした入試制度

神道特別推薦 将来は神職として神社関係に奉職するという強い志望を持つ生徒を対象とした入試制度

通信制課程普通科募集要項 認可申請中

募集定員 30名 募集コース 通信制課程：普通科

願書受付 令和7年12月1日(月)～令和8年1月6日(火) 15:00まで

入学試験 令和8年1月27日(火) 10:10～15:00(予定)

教科 国語・数学・英語(リスニングなし)＋面接
※国、数、英は中学1・2年で学習する範囲から出題

方式 マークシート方式

会場 皇學館高等学校

イブニング個別進学相談会 各20組限定

対象●中学3年生と保護者 ※定員到達にて締切

I 日時●令和7年10月18日(土) 18:00～19:00
申込期間●10月1日(水)～

II 日時●令和7年11月15日(土) 18:00～19:00
申込期間●11月1日(土)～

第3回オープンスクールのご案内

「入試問題を知ろう!」

令和7年11月2日(日) 9:30～

学校説明、入試説明、入試過去問題解説(英語・数学)、吹奏楽部歓迎コンサート など

会場●皇學館大学記念講堂
※駐車場・駐輪場は高校スペースをご利用ください。

申込期間●10月6日(月)～25日(土)

問合せ先
皇學館高等学校 TEL 0596-22-0205(代)

第64回 倉陵祭

テーマ 新風 10/25📅・26📅

有志による企画・展示・ステージ発表・アーティストライブ・お笑いライブの他にも、参加型企画をはじめ新たな企画を開催します!

テーマ新風にあった今年の倉陵祭をお楽しみに!

倉陵祭に関する情報を随時更新 Instagramをチェック!

問合せ・学生支援部 学生担当 TEL 0596-22-6317

📄📄📄



高い志とチャレンジ精神でもって学内のみならず、さまざまなフィールドで活躍している皇學館生たち。本コーナーでは彼らの熱い思いとともに、その活動ぶりをご紹介します。

皇學館高等学校
向原悠斗^(高2)さんが男子八種競技で3位

向原悠斗さん(高2)がインターハイ陸上競技の男子八種競技で3位に入賞した。目標としていた「8位入賞」を大きく上回る快挙に、「喜びと驚きがあった」と向原さん。東海総体で課題と感じたやり投げに注力し、安定して一定のライン以上投げられるよう練習を積み重ねてきたことが表彰台につながった。「日本一になる人は大舞台で実力を発揮できる勝負強さがある」と、トップアスリートたちのすごみを目の当たりにした向原さん。この学びを生かすべく、私生活においても気を引き締め、競技者としての意識を高く保ちたいと話す。



3位入賞を喜ぶ向原さん



3位表彰台に立つ向原さん
八種競技 1日目:100m・走幅跳・砲丸投・400m 2日目:110mH・やり投げ・走高跳・1500m

八種競技の魅力について「1つ課題を克服しても、また違う種目で課題が出てくる。常に新しい発見があり、成長できる」とし、一方で、「1種目がうまくいっても、他の種目がダメなら結果は出ない」と八種競技の難しさ、奥深さを語った。今後の目標について向原さんは「まずは県記録を更新し、来年のインターハイでは日本一になる」と力強く宣言。今回の経験を糧に、さらなる高みをめざす。

皇學館高等学校
岡島奏音^(高3)さんが女子三段跳で4位入賞

インターハイ陸上競技女子三段跳で4位入賞を果たした岡島奏音さん(高3)。結果こそ残したものの、「自分では納得がいかない。一番になることだけを目標に頑張ってきたので、悔しい気持ちでいっぱい」と、率直な胸の内を明かした。今大会を振り返り、「大幅なルール変更*があった中、1回目の試技で記録を残せたことは収穫」としながらも、勝利への焦りから「ファウルが続いてしまった」と反省点を挙げる。そして、「どんな状況下でも落ち着いて自分の跳躍ができるようにならないといけない」と今後の課題を語った。



4位入賞ながら、悔しさを滲ませる岡島さん

「中学生の時からずっと日本一になることをめざしてやってきた。この目標を達成するために、これからも日々練習に励みます」と、悔しさを力に変え、次こそは最高のパフォーマンスで頂点をつかむ決意だ。また、部を支え、応援されるキャプテンでありたいと、日頃から「誰よりも努力すること」「キャプテンとしての自覚を持つこと」「口ではなく行動で示すこと」を心掛けてきた岡島さん。後輩たちには「みんなで最強を証明しよう」とチームを鼓舞した。

* 猛暑対策として競技日程や方式の変更を実施。フィールド競技では試技数が減少。通常では予選3回→決勝3回の計6回から、2回→2回の計4回に変更。

令和7年度 第76回 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)		
陸上競技大会 7月25日～29日【広島県】		
男子八種競技	向原 悠 斗	3 位
男子110mハードル	上田 凜太郎	出 場
男子400mハードル	上田 凜太郎	出 場
男子棒高跳び	西 村 空 菜	出 場
女子三段跳	岡 島 奏 音	4 位
バドミントン大会 8月4日～9日【山口県】		
男子学校対抗		出 場
女子学校対抗		2 回戦進出
男子個人対抗 ダブルス	松 本 准 田 中 優 羽	3 回戦進出 (ベスト32)
	清 水 貴 耀 森 積 喜	出 場
女子個人対抗 ダブルス	世古口 来海 稲 吉 礼 有	3 回戦進出 (ベスト32)
	奥 村 紗 羽 谷 田 楓 華	2 回戦進出
男子個人対抗 シングルス	松 本 准	出 場
	山 下 晃 輝	出 場
女子個人対抗 シングルス	世古口 来海	4 回戦進出 (ベスト16)
	稲 吉 礼 有	出 場



第49回全国高等学校総合文化祭 7月26日～7月27日【香川県】		
囲 碁 部	伊東 亜里紗	出 場
写 真 部	後 藤 咲 良	出 場
全日本高校ボウリング選手権大会 7月31日～8月2日【愛知県】		
	澤 田 枇 奈	出 場

柔道部が7階級中4階級制覇、7名が全国大会に出場
第44回 東海学生柔道選手権大会

8月30日、名張市のベルウイング武道交流館で開催された「第44回東海学生柔道選手権大会」に本学柔道部が出場。7階級中4階級で優勝した。この大会では各階級での上位入賞者が全国大会への出場資格を得られることになっており、第3位までに入賞した7名の選手が9月27・28日に日本武道館での全日本学生柔道体重別選手権大会の出場権を手にした。また、10月18・19日にベイコム総合体育館で行われる全日本学生柔道体重別団体優勝大会への出場権も獲得した。



皇學館の名を全国に轟かせるべく、精進を誓う柔道部員たち

9月27・28日に開催された全日本学生柔道体重別選手権大会では安田和真選手(現日3)が初戦で見事一本勝ちを収め、2回戦に進出。その他の選手は惜しくも初戦敗退となった。体重別団体優勝大会に向けては上位進出をめざし、特訓を重ねている。同大会結果の詳細は次号にて報じる。

第44回 東海学生柔道選手権大会(8/30)		
73kg級	優 勝	★鬼 塚 勇 芯(教育3)
81kg級	準優勝	★若 谷 怜(教育4)
90kg級	優 勝	★井 上 寛 仁(教育2)
	準優勝	★安 田 和 真(現日3)
100kg級	優 勝	★南 大 志(現日4)
100kg超級	優 勝	★井野川 幹太(現日2)
	準優勝	★岡本 樹梨按(教育1)
	第4位	小 川 司 瑛(現日2)
★: 全国大会出場選手		

全日本学生柔道体重別選手権大会(9/27・28)		
73kg級	1回戦敗退	鬼 塚 勇 芯(教育3)
81kg級	1回戦敗退	若 谷 怜(教育4)
90kg級	1回戦敗退	井 上 寛 仁(教育2)
	2回戦進出	安 田 和 真(現日3)
100kg級	1回戦敗退	南 大 志(現日4)
100kg超級	2回戦敗退	井野川 幹太(現日2)
	1回戦敗退	岡本 樹梨按(教育1)

清水大斗^(現日2)さん、新聞 圭^(現日3)さん、曾越祐志^(現日2)さんが
全日本大学駅伝東海学連チームに出場



写真左から曾越さん、新聞さん、清水さん

11/2(日) 第57回秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会
熱田神宮～伊勢神宮 8区間 106.8km

全日本大学駅伝東海学連選抜チームの選手選考レースが9月23日に行われ、本学駅伝競走部の清水大斗選手(現日2)が2位、新聞圭選手(現日3)が3位、曾越祐志選手(現日2)が4位となり、11月2日(日)に行われる本戦への出場を決めた。寺田夏生監督は「今年はチームとして出場は叶いませんでした。その悔しさを胸に、3名それぞれが任された区間を力強く走り抜けます。当日はテレビの前や現地での応援、どうぞよろしく願いいたします。来年は必ずチームで出場します」と話した。

2 位	清 水 大 斗	(現日2)	30:10.28
3 位	新 聞 圭	(現日3)	30:10.86
4 位	曾 越 祐 志	(現日2)	30:11.68